【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【公開番号】特開2007-196876(P2007-196876A)
【公開日】平成19年8月9日(2007.8.9)
【年通号数】公開・登録公報2007-030
【出願番号】特願2006-18674(P2006-18674)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｗ　10/26　(2006.01)
Ｂ６０Ｗ　20/00　(2006.01)
Ｂ６０Ｋ　11/06　(2006.01)
Ｂ６０Ｌ　11/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｋ　6/04　３３０
Ｂ６０Ｋ　11/06　ＺＨＶ
Ｂ６０Ｌ　11/18　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月18日(2008.3.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ハイブリッド車両の二次電池の冷却制御を行うハイブリッド制御装置であって、二次電池を冷却する冷却ファンの風量によって二次電池の充放電量の制限値を予め設定された複数の制限値から選択するハイブリッド制御装置において、
二次電池の冷却ファンの運転制御モードを、ユーザーによるパワーモードスイッチのオン／オフの切り替え操作に応じて、通常の制御モードから冷却ファンの風量が通常の制御モードよりも大きいパワーモードに切り替えて二次電池の冷却ファンの風量を変更し、二次電池の使用可能領域を拡大すること、
を特徴とするハイブリッド制御装置。
【請求項２】
請求項１に記載のハイブリッド制御装置において、
二次電池の充放電量の制限値の選択は、二次電池の温度レベルと二次電池を冷却する冷却ファンの風量とによって行うこと、
を特徴とするハイブリッド制御装置。
【請求項３】
請求項１に記載のハイブリッド制御装置において、
アクセル開度が所定値以上であることによってパワーモードへの切替えを行うこと、
を特徴とするハイブリッド制御装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】ハイブリッド制御装置

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、ハイブリッド車両に搭載される二次電池の冷却制御を行うハイブリッド制御装置に関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明のハイブリッド制御装置は、ハイブリッド車両の二次電池の冷却制御を行うハイブリッド制御装置であって、二次電池を冷却する冷却ファンの風量によって二次電池の充放電量の制限値を予め設定された複数の制限値から選択するハイブリッド制御装置において、二次電池の冷却ファンの運転制御モードを、ユーザーによるパワーモードスイッチのオン／オフの切り替え操作に応じて、通常の制御モードから冷却ファンの風量が通常の制御モードよりも大きいパワーモードに切り替えて二次電池の冷却ファンの風量を変更し、二次電池の使用可能領域を拡大すること、を特徴とする。ここで、二次電池の充放電量の制限値の選択は、二次電池の温度レベルと二次電池を冷却する冷却ファンの風量とによって行うこととしても良いし、アクセル開度が所定値以上であることによってパワーモードへの切替えを行うこととしても良い。